

## 【編集後記】

近年AIの台頭やSNS利用の拡大により、私たちの価値観も変わってきています。市行政も、こうした時代の潮流に適切に対応する柔軟性が求められています。オンブード3名のうち市民から選出された2名は、日頃から伊丹市の市民活動や教育活動に熱心に取り組む方々です。昨年度に引き続き、私は学識経験者として、彼らと共に時には厳しい意見を市役所の各部署の方々にお伝えするべく尽力いたしました。お忙しい業務の間にご回答頂いた各部署の皆様へ感謝申し上げます。この報告書を次年度の施策実施に役立ていただき、伊丹市民の皆様が各々の価値観と向き合い、自身と周りの人々を大切にす地域社会の実現に近づけることを願っております。

(日比)

長いようで短かった市民オンブードの任期は、間もなく終わりを迎えようとしています。膨大な資料に向き合い、試行錯誤した昨年度。今年度は要領を得たことで、前回心残りだった点について再度掘り下げたり、さらに一步踏み込んだ質問をしたりすることができました。また、各課からの報告書の記載内容に関して、前年度と今年度との違いから進捗状況をより正確に把握することもできました。

各課が日々の業務で忙しく、常に男女共同参画の側面にばかり取り組めない事情は、大いに理解しております。しかしながら、外部の第三者のチェックがあること、そして定期的な報告が求められることこそが、私たちの存在意義だと思ひ、精一杯活動させていただきました。監視役であると同時に伴走者という良好な関係を今後も続けながら、市と共に同じ方々を向いて伊丹市の発展を目指していけることを願います。

(石川)

市民オンブードの2年目をつとめさせていただきました。

普段私の中にある、ジェンダーほか人権に関するさまざまな思い、次世代・次々世代の人たちに何を残してやるだろうか、さまざまな気持ちを、清濁併せて生きる市民の立場から、市役所の各課の人たちにぶつけました。

ヒアリングでは、担当各課の職員から真摯な対応をいただきました。書面のやり取りだけでは気づけない、熱い表情を見せていただき、やはり会って面と向かって話し合うことの大切さを思いました。

またこの2年間に、これまで触れる機会がなかった問題点や新しい知識をさまざま学ばせていただきました。拙い私を教導してくださった皆様と、ともに歩んでくださったすばらしいオンブード仲間たちに、ただただ感謝です。

(元見)

## 伊丹市DV相談室

伊丹市配偶者暴力相談支援センター。専門の相談員が相談に対応しています。

**TEL:072-780-4327** 面接・電話相談 平日:9時~17時30分

(土・日・祝日年末年始除く) 匿名可・秘密厳守

## ここいろ 伊丹市立男女共同参画センター

伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商エプラザ5階

**TEL:072-781-5516**

・女性のための悩み電話相談

**TEL:072-781-5531** (月曜日・第1日曜日)

・男性のための悩み電話相談

**TEL:072-781-5532** (第1土曜日)

・セクシュアルマイノリティ相談

**TEL:072-767-1012** (第1・第3金曜日)



## 伊丹市

### 女性のよりそい相談

**TEL:072-784-8103**

平日:9時~17時30分

土・日、祝日と年末年始は

除く。

### メール相談

24時間365日受付

・相談無料・匿名可能

・女性相談員対応

・返信は概ね

3開庁日以内



【発行・問い合わせ】

伊丹市市民自治部共生推進室男女共同参画課 TEL:072-784-8146 FAX:072-780-3519

## 伊丹市男女共同参画施策

# 市民オンブード調査報告(概要版)

令和6(2024)年度事業内容

伊丹市長の委嘱により、市民の立場から本市の男女共同参画計画の進捗状況についてチェックする、伊丹市男女共同参画施策市民オンブードの令和6(2024)年度事業内容に対する報告書がまとまり、市長に提出されました。このリーフレットは、「報告書」の概要版です。

### 【報告書の目次】

#### 第3期伊丹市男女共同参画計画 進捗状況報告

数値目標及び達成状況

令和6(2024)年 進捗状況の概要

体系表・伊丹市特定事業主行動計画 実績値状況(女性活躍推進法)

#### 第3期伊丹市男女共同参画計画 市民オンブード調査報告

##### 基本目標1 男女共同参画に関する啓発・教育の推進

【基本施策1】拠点施設ここいろを中心とした、市民への多様な啓発の推進

【基本施策2】学校等における教育の推進

【基本施策3】市民の主体的な学習の促進

##### 基本目標2 仕事と生活の調和の推進

【基本施策1】性別に関わらない、仕事と子育て・介護との両立支援の促進

【基本施策2】全ての人の地域社会への参加の促進と、地域活動における男女平等の推進

【基本施策3】多様な働き方の推進

##### 基本目標3 女性の活躍の推進

【基本施策1】意思決定過程への女性の参画拡大

【基本施策2】男女間経済格差の解消の促進

【基本施策3】女性のキャリアの形成支援

##### 基本目標4 困難を抱える女性への支援

【基本施策1】感染症大流行その他大規模災害の影響を受けた女性への支援

【基本施策2】心身の不調を抱える女性への支援

【基本施策3】貧困等生活上の困難に直面する女性への支援

【基本施策4】ひとり親家庭への支援

【基本施策5】複合的に困難な状況にある人への対応

##### 基本目標5 暴力など、女性に対するあらゆる人権侵害の防止

【基本施策1】性暴力の防止

【基本施策2】DVの防止

【基本施策3】性別に基づくハラスメントの防止

##### 基本目標6 男女共同参画の視点による防災の推進

【基本施策1】防災・復興に関する男女共同参画の視点の強化

##### 基本目標7 推進体制の整備・強化

【基本施策1】庁内推進体制の強化

【基本施策2】市民、行政、団体等の連携の推進

市民の意見を直接  
市長に届けました！  
全国で唯一カモ！？



伊丹市マスコット  
たみまる

くわしくは、中面へ！⇒

下記のホームページには、資料を含む「報告書」と「概要版」を合わせて掲載しておりますのでご参照ください。

市民オンブード調査報告書(平成23(2011)年度~令和6(2024)年度)

伊丹市ホームページ <http://www.city.itami.lg.jp/>

(   )



## 基本目標毎のオンブード評価

オンブード調査では、計画の基本目標別に、担当課へヒアリングや書面で質問を行い、その結果や意見を報告書にまとめました。報告書の内容からピックアップしてお知らせします。

### 【基本目標1】

#### 「男女共同参画」に関する啓発の工夫を

イオンモール伊丹などでの啓発パネル展で、広い年代や立場の方に理念を共感してもらえるよう楽しみながら学べる仕掛けを意識しているとのこと。「難しそう、自分には関係ない」と感じさせない工夫が素晴らしいので、引き続き市民に浸透しやすい工夫をお願いします。また、啓発先の開拓として、市民の出入りが多く高い広告効果が期待できる市役所での開催についても検討をお願いします。

#### 孤立するかもしれない方への情報周知と支援

高齢男性向けに開催した「お料理初心者」などの講座が好評であったことは、対象の年代に合った広報と、堅苦しくない雰囲気での講座開催が成功したとのことでした。今後も幅広い年齢層を対象とした講座の継続をお願いします。

地域若者サポートステーションとの連携で、外出が難しい当事者の講座参加を促すことができたとのことでした。当事者目線に立った言葉選びや雰囲気作りで、今後も丁寧な場作りをお願いします。

#### 学校教育現場での性教育と性犯罪報道の扱い

学習指導要領に基づき性教育を実施、国の動向を注視しつつ学校に助言しているとのことでした。要領改訂の会議は学識経験者だけでなく教育・行政関係者も加わり、現場の意見を反映される仕組みであるとのこと、安心しました。また、教員や指導者の性犯罪などのニュースで児童生徒や保護者が戸惑う時には、生徒指導提要に基づき丁寧に寄り添うよう指導しているとのことでした。連日報道される時事的な問題は取り扱いに慎重を要し難しいことでしょう。少しでも教室で「今の世の中の動き」を子どもたちに伝える努力をお願いします。

#### 子どもの人権と尊厳を守る活動と研修を

子どもへの不適切な保育を防止するため、相談に応じ他部署と連携し丁寧な聞き取りと活動を行っているとのことでした。活発に利用されている相談窓口で、引き続き関係機関と連携し子どもの声を聞き逃さないようお願いします。増加する若手保育者を対象とした性的マイノリティの子どもへの理解を含む人権研修を検討しているとのことでしたが、特に年齢を重ねた保育者が性的マイノリティの子どもを真に理解できるか、今後多様な年齢層の理解度に応じつつ知識を底上げする研修の検討をお願いします。

### 【基本目標2】

#### 複合的な困難を抱える母親への支援

母親が精神的・身体的・社会的に困難を抱える場合にて、伊丹病院としては公認心理師、精神科医、小児科医等専門家、さらに他機関と連携し、幅広く、そして長期目線での支援体制を整えて、対応に最善を尽くされている様子をうかがいました。

職員のスキル向上のため、部署内での情報共有がなされていることも大切だと思います。

#### 認知症・介護の負担が女性に偏らないように

認知症についての理解を深め、その家族を温かく見守り、その知識を実践に生かして支援していく趣旨の講座が行われ、これらは、これからの時代にますます重要なものになると思います。そして介護の負担を、今後は男女ともに適切に分担していく姿勢が大切です。講座などを通じて、女性に負担が偏らないよう、幅広い世代や立場の参画を促す工夫をお願いします。

### 【基本目標3】

#### さまざまな場面での女性の活躍促進を

市行政の審議会等では、多くが充て職による選任であり、構成比の改善は急には難しい状況です。男女共同参画課の「目標比率の意義や必要性を明確に伝える」という具体的な行動を示してくださったことに、真摯な姿勢を感じました。

書面通達だけでなく、リーダー会議などの顔を合わせる場で話題に挙げて、意義と必要性を継続的に伝えていきたいと思えます。

また、女性管理職の登用推進に向けて、伊丹市が全国の先進的なモデルケースとなれるような、革新的な取り組み姿勢を訴えました。

#### 女性の職域拡大に関する情報周知について

啓発紙「伊丹市労政情報」により、周知を図っているとのことでしたが、本当に情報が行き届いているかの精査方法は、検討中との回答でした。そのため、令和7年度には、より効果的な場所やタイミングでの配布方法の工夫を期待します。あわせて、内容面についても複数人で意見を出し合いながら、さらに有益で最新の情報発信につなげていただきたいです。

### 【基本目標3】

#### 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者は金銭的、身体的、心理的など複合的な諸事情を抱えていることが多く、自身の状況を正確に説明することが難しい場合や、自尊心の低下や孤立感から、自身の意向を表明することをためらう場合もあります。支援が必要な人々に対して、3名の相談支援員が相談にあたり、丁寧な傾聴から信頼関係を築き、解決の優先順位を定めて、複合的な支援に結び付けているとのこと。個別のニーズに応じたオーダーメイドの支援を行うため、しっかりと困窮者の特性を把握されている様子を伺いました。

### 【基本目標4】

#### 困難を抱える方々への支援事業の充実

どの支援事業にも共通するのは、支援員が相談者の話を親身になって聴くこと。そして丁寧に信頼関係を築くこと。そして気兼ねしたり、引け目に感じる事のない配慮がなされ、必要に応じた適切な支援が受けられるようサポートされていることです。支援内容が違って、どの課にも共通してこのような意識が浸透していると感じました。

#### 支援員の養成や支援体制の整備

支援内容は複合的かつ多岐にわたるケースが多いので、支援員には幅広い知識が必要不可欠です。そのため日々の情報収集や、知識習得にも力を入れていることを伺えました。それに加えて、人員にゆとりを持つために、新人や後継者の育成にも取り組んでいただければ幸いです。

また、給付金、支援サービス、外国人のための翻訳機器の導入などが実際に活用され、たくさんの方に役立てられているとのこと。

#### 全ての子どもの取り残されない社会に

とりわけ子どもたちは、困っていても自ら相談したり声を上げたりすることが難しく手段も限られています。だからこそ、周りの大人達が兆候を見逃さず即座に担当機関と連携し、支援に繋げる必要があります。ヤングケアラー、貧困、虐待、などに関して、周りの大人達が知識をつけ、温かな目で見守り、必要時には行動に移せるよう啓発活動の強化をお願いします。

### 【基本目標5】

#### 悲しい事件が二度と起こらないために…

記憶に新しいスポーツ21での痛ましい性犯罪、このような事件が二度と起こらないよう、今一度対策を強化してください。

そして、被害者・加害者を生まないためのDV防止講演会や講座の増設、良識ある傍観者の育成講座など、啓発活動のさらなる強化をお願いします。また、万が一起こってしまった際の迅速な相談や支援の体制整備もお願いします。

### 【基本目標6】

#### 市防災会議の女性割合、いまだ向上せず

市防災会議において「女性委員割合20%」を目標に掲げていますが、依然として達成には程遠いようです。人事課、危機管理室、そして関係各所が男女比は正の意義を理解し、一丸となって目標達成に取り組んでいただきたいです。

#### 一人ひとりの防災力が頼りです

いきなり防災士の資格取得を目指すのはハードルが高いことですが、市民一人ひとりが少しずつ防災の知識を得て、持ち寄ることで、市全体の防災力は確実に向上します。出前講座や啓発講座などで、伊丹市の防災力の底上げを図ってください。

### 【基本目標7】

#### 時流に合わせた働き方の転換や雇用の実現を

管理職への昇任意欲低下という課題に対して、原因を分析し、多忙な管理職の業務量や家庭との両立の懸念を解消するよう働き方の見直しなどを検討していくとのことでした。すぐに成果が出ることではないと思うので、ためらわず方策の見直しや新しい取組を実施するようお願いしました。また、出産や育児、介護などで離職した女性を再雇用するアルムナイ採用については、即戦力となる人材の確保にもなり女性の働き方の選択肢を増やすことができるため、ぜひ実現に向けて動いていただきたいです。